

## 「小室さんには日本人としての常識が欠けている」

令和3年4月21日

### ●塾講師 A さんからの質問

さて、小室氏が文書を発表しました。全文読んでみて、愕然としました。恐らくこの方は、「戦後の日本人の悪いところ全部集めた方」なのだろうという気がします。多くの国民が、何に違和感を持ち、何に嫌悪感を持っているのかを、全く理解できていないのではないのでしょうか。文書では金銭トラブルについて、自らの正当性を延々と述べていますが、問題は恐らくそこではありません。「法的にどうか」ということではなくて、皇室にかかわる以上は、「人間としての誠実性」こそが問題なのだと思いますし、そもそも、それがあれば、ここまで問題が長引くこともなかったでしょう。西田先生は如何お考えでしょうか。

### ●西田昌司の答え

私のような人間が皇室に関わることに口を出すのは大変におこがましいのですが、小室さんはまだ眞子内親王殿下と正式には結婚をされていない方であり、多くの国民が感じていることを代弁いたします。

小室さんが眞子内親王殿下と結婚されると眞子内親王殿下は皇籍から離脱されますので、小室さんは皇室に入られるわけではありませんが、将来、悠仁親王殿下が天皇陛下に即位されると小室さんは天皇陛下のお義兄さんになってしまうのですから、このような事態を多くの国民は全く受け入れがたいでしょう。

眞子内親王殿下と小室さんが4年前に婚約内定会見された後に小室さんの母親と元婚約者との金銭トラブルが発覚し、結婚が延期されていました。秋

篠宮殿下は、多くの人々が納得し喜んでくれる状況にならなければ（婚約に当たる）納采の儀は行えないとの発言をされていましたが、状況は全く変わっていません。小室さんの母親のトラブルの火の粉が小室さんに降りかかって小室さんが非難されているのはお気の毒な面もありますが、ひとえに小室さんには日本人としての常識が欠けているのが騒動の原因です。

私が京都府議会議員だった頃に京都大学の学生と政治座談会をした際に、小室さんのような学生にお目にかかりました。彼はアメリカで生まれて、二十歳の時に（アメリカ国籍ではなく）日本国籍を選択しましたが、もしもアメリカ国籍を選択していたら制度的にはアメリカ大統領にだってなることができます。そんな彼が「私はなろうと思えばアメリカ大統領にもなれるのに、日本の天皇陛下には絶対になることができません。こんな国はおかしい不是吗！」と宣うものですから、私は「そりゃ君がおかしいのだよ」と返してやりました。

日本の天皇陛下とアメリカ大統領は（どちらも形式上は国家元首となるものの）制度が全く異なります。日本の皇室は、神話の時代から連綿と続いてきた血統であって日本の歴史・伝統の象徴です。一庶民がそんな存在になろうと思うこと自体がおかしいと彼に伝えたところきょとんとしていましたが、小室さんの皇室観はこの学生と同レベルなのでしょう。

普通の人々は、皇室の中におられる眞子内親王殿下にプロポーズすることなど恐れ多くてできませんし、無職の小室さんとなればなおさら躊躇するはずで、職についてもいないのにどうやって眞子内親王殿下をお守りするつもりなのか全く理解できませんし、この数年にわたるバッシングに晒されれば普通は自らの横柄さに気付いて反省するものですが、そのような謙虚さが全く感じられません。また、眞子内親王殿下に対しても、どうして小室さんのような方をお好きなられてしまったのかとの疑問を抱かざるをえません。

皇室は、国の象徴のみならず家族の象徴です。皇族の皆さまは大変に重い義務を背負われておりますし、品行方正な皇族の方々が睦まじくお過ごしに

なられる姿を見て、我々庶民も家族を大事にして皆で仲良くやっていこうと思えるわけです。今回の騒動はこの根本を揺るがしかねないという意味で、日本の国体にとっても極めて重大な事件と言えます。

最後にもう一度、いろいろと言い過ぎてしまいましたことを深くお詫び申し上げますが、皇室の弥栄を心からお祈りいたします一庶民の思いとしてどうかご理解ください。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>